

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2025年6月27日時点)

➤ **露軍は、クルスク州及びウクライナ東部・南部地域**において攻勢やウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続。また、ウクライナ軍も露領内への攻撃を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

- 露軍: **死者約19.8万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
: **死者最大25万人、死傷者95万人以上**(CSIS25年6月3日)
: **死傷者約100万人**(英国防省25年6月12日)
- 「ウ」軍: **死者4.3万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
: **死者最大6~8万人、死傷者約40万人**(CSIS25年6月3日)
- 「ウ」市民: **死者12,654人以上、負傷者2万9,392人以上**(UN25年2月21日)

- ゼレンスキー大統領は、現在「ウ」領に**露兵士が69.5万人存在**と言及(6月21日)「ウ」軍総司令官は、「ウ」軍がスーミ州**アンドリウカ**を解放後、**ユナキウカ**方面への攻撃を開始したと言及(6月22日)
- 「ウ」軍参謀本部は、26日に139件の衝突(39件が**ポクロウスク**方面、20件が**クルスク州・ハルキウ**方面、17件が**リマン**方面)が発生と発表(6月26日)
- 露国防省は、6月8日にドネツク州**ソリヤ**、13日にスーミ州**ヤブルニウカ**、ドネツク州**コマル**、15日に同州**マリニウカ**、21日に同州**ザボリツジャ**、24日に同州**ディリウカ**、25日に同州**ヤルタ**を解放したと発表

- 「ウ」空軍は、クルスク方面において**Su-35戦闘機を撃墜**と発表(6月7日)
- 「ウ」軍参謀本部は、**露タタルスタン共和国エラプガの攻撃型無人機の生産施設**を攻撃したと発表。同共和国首長は、エラプガ地区における自動車工場の検問所で、無人機の破片により死傷者と火災が発生と発表(6月15日)
- 「ウ」空軍は、露が**無人機×440機**(うち約**280機がShahed型**)、**ミサイル×32発**で「ウ」を攻撃し、キーウ市が主な標的であったと発表。「ウ」非常事態庁は、同攻撃により、キーウ市で**28人が死亡**、134人が負傷と発表(6月17日)
- 「ウ」空軍は、露が**無人機×352機**(うち**最大160機がShahed型**)、「**イスカデルM/KN-23**」弾道ミサイルなど**ミサイル×16発**で「ウ」を攻撃し、キーウ市が主な標的であったと発表。「ウ」当局は、**9人死亡**、34人負傷と発表(6月23日)
- 「ウ」ドニプロペトロウスク州軍政長官は、露が**ドニプロ市**を攻撃し、**少なくとも17人が死亡**し、279人が負傷したと発表(6月24日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が占領した地域

- 「ウ」国防次官は、「ウ」の主要優先項目は、**防空システム**、**砲弾**(特に105mm及びクラスター弾)、**無人機用の爆弾**、**西側装備用の予備部品**と言及(6月16日)
- 露安保会議書記は、**北朝鮮**が、**露クルスク州**の地雷除去のために**工兵1,000人**、同州の復興のために**軍建設要員5,000人**を派遣すると発言(6月17日)
- スーミ州軍政長官は、特定の方面、特に露が攻撃を停止しない国境地域において、道路を防護するための**対無人機ネット**を設置する作業が継続しており、露の空中偵察の阻害、人々の安全と物流の保全につながる旨言及(6月19日)
- ゼレンスキー大統領は、**Shahed型無人機の3分の1が機動射撃班によって撃墜**されているが、同班が**迎撃用無人機**の使用を開始していると発言(6月21日)

- 「ウ」メディアは、「ウ」情報総局によれば、露が**月に最大195発のミサイル**(「イスカデルM」弾道ミサイル×60発、Kh-101巡航ミサイル×60発など)のほか、Geran-2(Shahed-136)やGarpiya-A1、罠用のGerberaを**月に最大170機生産可能**と報道(6月21日)



国土地理院標準地図を加工

資料源:ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等